

当院でオプトアウトを行っている臨床研究

<p>院内がん登録</p>	<p>「がん対策基本法（平成 18 年法律第 98 号）」によって義務付けられています。当院で診断や治療をされた全ての患者様のがんについての情報を病院全体で集め、当院のがん診療がどのように行われているかを明らかにする調査です</p> <p>情報の利用</p> <p>登録により収集された情報は、がん全国集計・地域がん登録などへの情報提供、当院で利用するほか、国のがん診療の実態把握・がん診療の質の向上、患者様への医療支援などに情報を利用されます。</p>
<p>NCD（National Clinical Database）外科手術・治療情報データベース事業</p>	<p>本事業は、日本全国の手術・治療情報を登録し、集計・分析を行っています。医療の質の向上と患者様に最善の医療を提供するために利用されます。</p> <p>全国の医療施設診療科の情報を収集することで、手術を行っている施設診療科の特徴、医療水準の評価、適正な外科専門医の配置、手術を受けた患者さまの予後、これから手術を受ける患者さまの死亡・合併症の危険性などを明らかにすることができます。</p>
<p>脳卒中における栄養管理の有効性と安全性に関する単一施設後方視的観察研究 （総合診療科）</p> <p>2029 年 3 月 31 日まで</p>	<p>当院では多くの脳卒中患者様の診療を行っており、できるだけ発病前に近い状態で退院していただけるよう、最善の治療を提供しております。しかし脳卒中そのものは重篤な疾患であり、「口からたべる（経口摂取）」ことが困難となり、点滴やその他の栄養方法を必要とする患者様がいらっしゃるのも事実です。脳卒中の患者様にどのような栄養療法が最適なのか、当院が実施している栄養療法に問題点があるのかどうか、あるとしたらどのような問題があり、それをどのように解決したらよいのか、そしてその改善案を実行して実際に改善するのか、と絶え間なく検証し、質の高い診療を提供できることを目指します。</p>
<p>日本整形外科学会症例レジストリー(JOANR)構築に関する研究について （整形外科）</p> <p>2030 年 3 月 31 日まで</p>	<p>整形外科が扱う運動器疾患は、小児から高齢者まで幅広い方々を悩ませ、多くの方の健康寿命を損なう大きな原因となっています。その治療である手術の件数も年々増加していますが、その全国規模の全容を捉えられるデータベースがまだありません。全国の整形外科で情報を共有できるシステムを作り上げることは、有効な治療法や手術の安全性を科学的に確立するために大変有用です。日本整形外科学会が作りあげるこの大規模データベースに参加・協力し、より良い治療を探って参ります。</p>

臨床研究で収集された個人情報「個人情報保護法」および当院の個人情報保護方針に基づき、厳格に管理をしております。

2024 年 4 月 1 日立川相互病院